

LESSON TRANSCRIPT

Video Culture Class: Japanese Holidays #5 St. Valentine's Day

5

2月14日の「バレンタインデー」は世界各地でお祝いされています。日本では、女性達にとっての一大イベント。なぜならこの日は、女性が男性にチョコレートを渡し、愛を告白する日だからです。このように、もっぱら女性から男性に贈るといふ点と、チョコを贈るといふ点については日本独自の習慣です。

最近では、女の子の友達にもチョコレートを贈ります。では、このチョコレートを何と呼ぶでしょうか。

正解はこのビデオの最後に紹介します。

以前、日本では女性から愛を告白することを「はしたない」として、避ける風潮がありました。ですから、好きな男性がいても、相手から愛を打ち明けられなければ恋愛を成就させることができなかつたのです。そこでバレンタインデーは、片想いの女性にとって愛を実らせる絶好の機会となりました。そして、製菓会社の宣伝もあり、「バレンタインの贈り物はチョコレート」といふ日本独自の習慣が定着しました。

女性は、好きな男性にチョコレートを贈ります。すでに交際していたり、結婚していたりする場合でも、彼氏や夫にチョコレートを贈って愛を伝えたり、日ごろの感謝の気持ちを表したりします。「日本のチョコレートの年間消費量の二割程度がバレンタインに消費される」といふデータがあるくらい、国民的なイベントなのです。

恋愛感情がなくても、「いつもお世話になっています」といふ感謝の気持ちを込めて、職場や学校などで接している男性にチョコレートを贈ります。これを「義理チョコ」と呼びます。バレンタインデーは、贈る側の女性がドキドキするのはもちろんですが、もらう側の男性も緊張の一日。特に、若いうちは「義理でもいいからチョコレートがほしい」と思ふ男性が多いです。

一番好きな人にあげるチョコレートは「本命チョコ」といいます。普通本命チョコは手作りの場合が多いです。本命チョコにかかる予算は、社会人の女性の場合、平均3000円くらいといふ調査結果もあります。

さて、ここでクイズの答えです。

正解は「友チョコ」です。義理チョコが発展したもので、女子高生など若い女性の間で流行しています。友情の証としてチョコレートを贈り合うのです。バレンタインの時期には、普段は買えない、おいしくて可愛い形のチョコが販売されますから、お互いに贈り合って食べたくなくなってしまう女の子が多いのでしょう。